

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年8月の国内電気銅建値は下記の通りです。

8月	2日	～	1110円/Kg
8月	4日	～	1090円/Kg
8月	10日	～	1080円/Kg
8月	13日	～	1090円/kg
8月	18日	～	1060円/kg
8月	26日	～	1030円/kg
8月	24日	～	1060円/kg
8月	27日	～	1070円/kg

2021年8月度は平均で1074.70円/kgとなり、前月比12.80円/kgの値下がりとなりました。

海外銅価の動き

8月のLME銅相場	8/1～8/30	(安値ドル8,775.50～9,737.00 高値ドル)
8月のNYC銅相場	8/1～8/30	(安値セント403.85～443.20 高値セント)

8月度のLME現物は、2日\$9,737.00でスタート。在庫は昨年6月以来の23～24万tで推移。前月終盤からの上がり目基調を支えていた“中国はコロナ感染再拡大を封じ込めた”との報道が需要の見通しを改善する原動力となった形だが、その後中国を含めコロナ禍はまだまだ終わりではないとの見方が強く、徐々に値下がり方向へと動いた。19日には4月以来久しぶりに\$9,000を切る\$8,783.50を記録した。原油や鉄鉱石も値下がりする中、更にアルミ化へシフトする企業もチラホラ出て来る状況もあり、銅価格については大幅に値上がりすることは難しいとの見方が一部で示される動きとなった。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

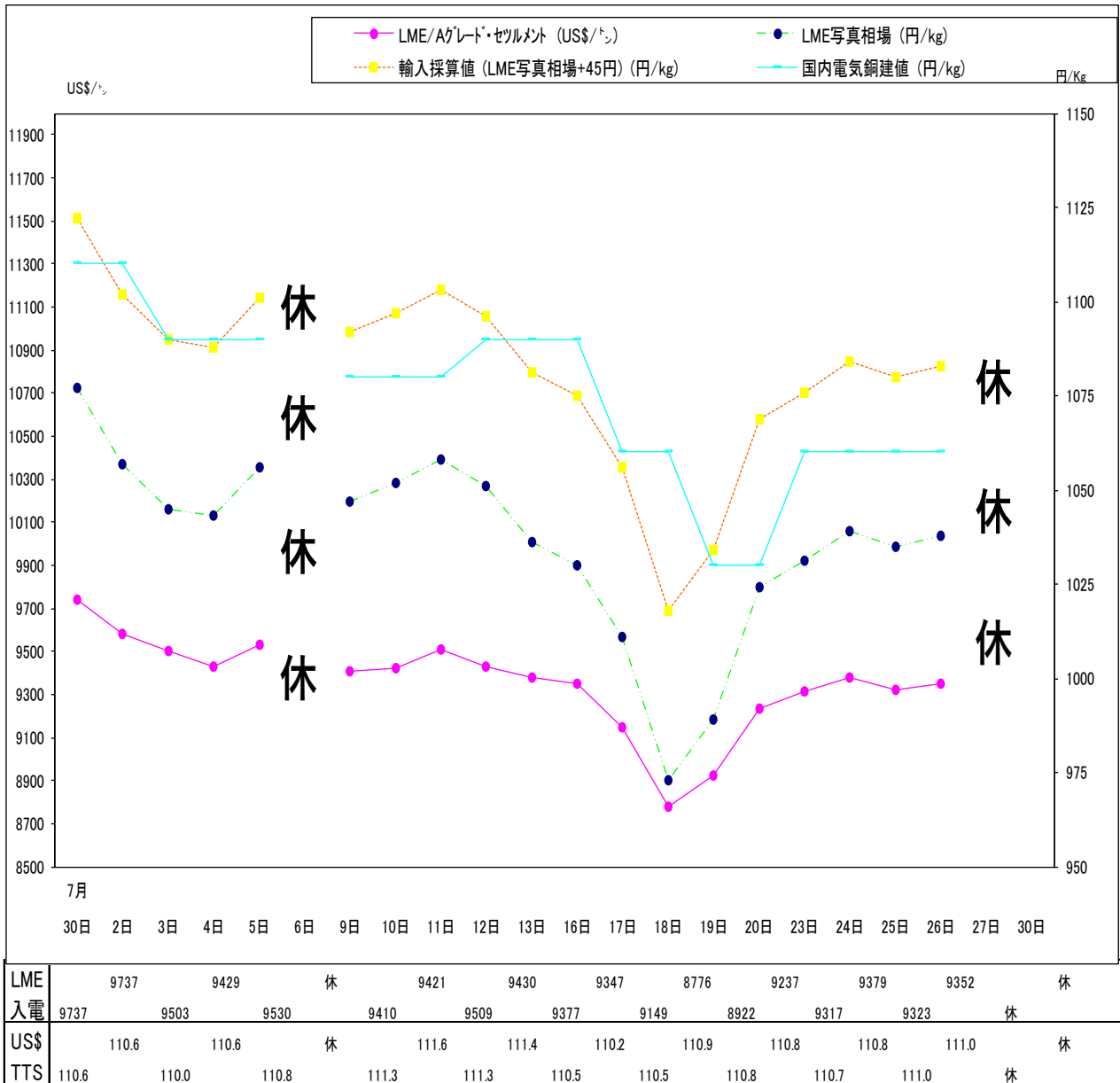
	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

先行き短期見通

国内銅価

8月国内建値は2日1110円でスタート。4日1090円、10日1080円、13日1090円、18日1060円、その後20日1030円と下げ方向となったが、24日1060円、27日1070円とし、平均は1074.70に。8/27付LME\$9,352.00、同為替(TTS)1USD=111.02円で日本円換算計算値1,038円/kgに。2021年8月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り1080円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年8月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 8月 2日 ~ 385 円/kg
- 8月 5日 ~ 376 円/kg
- 8月 16日 ~ 385 円/kg
- 8月 20日 ~ 379 円/kg
- 8月 26日 ~ 388 円/kg

平均381.90円/kg

2021年8月は上記の通りで前月比 3.80 円/kg の 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	8月	324.00 円/kg	(前月比+ 8.80 円/kg)
電気錫 (相対)	8月	5,290.00 円/kg	(前月比+ 210.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	8月市中価格	2,200.00 円/kg ~ 2,250.00 円/kg	
銀	7月平均	92,750.00 円/kg	(前月比- 4,340.00 円/kg)
	8月31日	86,370.00 円/kg	
金	7月平均	6,427.10 円/g	(前月比- 106.17 円/g)
	8月31日	6,435.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2021年7月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		6月度実績	7月度速報	前月比	前年7月度実績	前年同月比
銅	板	1,074	962	-10.4%	1,068	-9.9%
	条	24,070	23,989	-0.3%	15,597	53.8%
	管	8,439	8,081	-4.2%	6,634	21.8%
	棒	2,014	1,980	-1.7%	1,513	30.9%
	線	346	319	-7.8%	241	32.4%
黄銅	板	503	496	-1.4%	502	-1.2%
	条	9,031	8,416	-6.8%	4,483	87.7%
	管	395	398	0.8%	320	24.4%
	棒	16,499	15,017	-9.0%	10,329	45.4%
	線	2,419	2,407	-0.5%	1,087	121.4%
青銅	板	3,059	2,511	-17.9%	1,734	44.8%
	条					
	棒	286	276	-3.5%	226	22.1%
	線					
洋白・その他	板	431	465	7.9%	299	55.5%
	条					
	棒	446	393	-11.9%	141	178.7%
	線					
合計	69,012	65,710	-4.8%	44,174	48.8%	

7月の伸銅品生産速報は、65,710トンで前月比マイナス3,302トン、前年同月比プラス48.8%となり、前年同月比が7ヶ月連続でプラスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の5月分実績及び6月分推定によれば、5月分実績は建設電販や電気機械、自動車など4部門が前年同月を上回ったため、総計は4万6千486tで前年同月比10.5%増と2ヶ月連続で増加した。銅電線6月分推定は、建設電販が2ヶ月ぶりにマイナスになったものの、電気機械と自動車が健闘したことに加え、輸出も増加し総計は5万2千800tで同3.7%増となり、3ヶ月連続の増加見通し。電線需要は回復傾向にあるが、まだ本調子には至っていない。

一方、5月分の7部門別銅電線出荷実績をみると、プラスグループは電気機械と自動車、建設電販、輸出の4部門となった。電気機械は、特に自動車の電装用途と半導体、FA・ロボット向けが動いたのが要因で同14.4%増と2桁、9ヶ月連続で伸長した。自動車は、車の生産台数と連動し同59.6%増と好況で3ヶ月連続での増加。昨年10月からの伸長は、今後拡大の期待もある。建設電販は、16ヶ月ぶりに5%増とプラスに転じた。前年同月の不振に対しての増加的要素が強く、コロナによる影響は厳しい。また、輸出はこれまでの数値が低かったうえにスポーツ需要が発生し、同0.8%増とわずかながら前年を上回った。

一方、マイナスグループは3部門。通信は基地局用同軸は動くが、同25.7%減。電力は洋上風力発電は堅調だが、他は振るわず同1.6%減。その他内需は、コロナ禍による景気低迷で設備投資が鈍化し、同4.4%低下。15ヶ月連続での前年割れとなった。

2021年5月分(実績)・2021年6月(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	5月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	6月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	5月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	673	▼17.6	▼25.7	800	(18.9)	▼4.8	1,297	▼14.2	2.7
電力	(1,509)	(11.9)	(▼9.2)	(1,100)	(▼27.1)	(▼42.6)	(918)	(1.3)	(▼10.7)
	3,655	▼2.1	▼1.6	4,400	20.4	▼6.1	4,388	▼9.4	4.3
電気機械	(195)	(▼11.0)	(▼10.1)				(200)	(▼13.4)	(1.5)
	9,602	▼18.3	14.4	12,100	26.0	26.5	14,241	▼14.5	36.2
自動車	(114)	(▼35.2)	(29.5)				(428)	(▼36.8)	(39.0)
	5,898	▼25.5	59.6	7,800	32.2	51.8	26,660	▼29.4	56.1
建設・電販	(18)	(▼81.2)	(260.0)				(20)	(▼70.1)	(150.0)
	22,772	▼8.0	5.0	23,100	1.4	▼10.7	32,479	▼2.9	38.8
その他内需	(60)	(22.4)	(17.6)	(500)	(29.2)	(1.4)	(61)	(▼4.7)	(10.9)
	3,047	▼15.1	▼4.4	3,500	14.9	▼5.7	6,130	▼8.3	15.0
内需計	(1,896)	(0.4)	(▼6.2)	(1,600)	(▼15.6)	(▼33.6)	(1,627)	(▼16.3)	(2.0)
	45,647	▼13.2	9.8	51,700	13.3	3.8	85,196	▼15.6	38.0
輸出	(0)	(▼100.0)	(▼100.0)	(100)	(-)	(▼76.8)	(0)	(▼100.0)	(▼100.0)
	839	▼30.5	68.1	1,100	31.1	0.8	4,115	▼18.9	66.9
合計	(1,896)	(▼1.8)	(▼16.1)	(1,700)	(▼10.3)	(▼40.2)	(1,628)	(▼19.2)	(▼10.0)
	46,486	▼13.6	10.5	52,800	13.6	3.7	89,311	▼15.7	39.1
心線販売	(399)	(▼3.2)	(▼1.0)	(500)	(25.3)	(7.8)	(115)	(1.8)	(26.4)
	21,579	▼19.4	16.1	26,500	22.8	32.0	21,203	▼17.4	87.4

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2021年5月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,126	▼19.4	▼6.7	3,402	▼20.9	75.2	
巻線	9,070	▼21.4	37.5	9,618	▼20.1	54.9	
機器用電線	3,156	▼10.8	17.5	10,317	▼7.7	26.0	
通信用電線・ケーブル	1,093	▼11.1	▼9.0	2,651	▼9.0	7.2	
電力用電線・ケーブル	16,259	▼9.4	▼3.8	20,086	▼5.5	23.5	
被覆線	9,455	▼1.7	10.5	15,830	0.6	37.1	
輸送用電線	4,327	▼28.2	56.2	27,407	▼29.0	55.9	
銅電線計	46,486	▼13.6	10.5	89,311	▼15.7	39.1	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	53	1.9	0.0	177	▼3.3	▼2.7
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,406	6.1	7.7	3,348	▼10.5	36.0
	計	2,462	6.0	7.3	3,537	9.4	32.6
アルミ電線計	1,896	▼1.8	▼16.1	1,628	▼19.2	▼10.0	
光製品	3,205,397	0.6	12.7	22,250	▼9.8	12.5	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	4,571	▼15.0	11.3	

(注)2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注)3. 光製品の数量はkmc

(注)4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、元々供給逼迫感を誘っていたロシアの追加関税、カナダの製錬所ストライキ、中国の洪水の影響が価格を押し上げ 2018年4月以来となる高値\$2,642を付けてスタート。週半ば、中国武漢でデルタ株の感染が確認され流行拡大が懸念されたことや、FRBによるテーパリング開始時期も不透明なことから\$2,600を割って\$2,500台後半での推移となる。第2週、第3週、お盆休み明け、中国の経済指標下振れを嫌気した売りが入って軟調に推移。しかしLME倉庫からのアルミ搬出は続き、現物はタイト化。大半のFOMCメンバーが年内テーパリングに賛成していたと公表されると、景気後退懸念からアルミは下落開始。米中経済鈍化、新型コロナ感染拡大、FOMC早期テーパリング観測、アフガン情勢、ドル高騰、下落要因は多々あれど、LME銅で支持線が割れるとベースメタル全般で売りが売りを呼ぶ展開。第4週、アフガン地政学的リスクへの意識やFOMCの早期緩和縮小観測など、上値の重い展開が続く。ジャクソンホール会合を控え、\$2,600台の狭いレンジでの推移。LME指定在庫は、マレーシア・クラン港で2万mt増加。最終週、注目されたジャクソンホール会合で、年内テーパリング開始が宣言されるも9月FOMCでの開始はない旨が示唆されると、ドル安に導かれてベースメタルは\$2,697まで上昇。その後、会合の中身が精査されるにつれて\$50下落。アフガニスタンの地政学リスクの高まり、新型コロナ拡大懸念の中、当面は、\$2,600台後半の狭いレンジでの推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格（CIF） 2021年 7～8月積 2,769.00～2,744.00ドル/トン
- ・輸入採算価格 2021年 7～8月積 325.40～322.40円/kg
- ・NSP 2021年 6月 334.00円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2021年 7月～9月 320.00円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'21年6月	'21年7月	'20年7月
月生産	*2,323.0	2,405.0	2,342.0
平均日産	*77.4	77.5	75.5

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

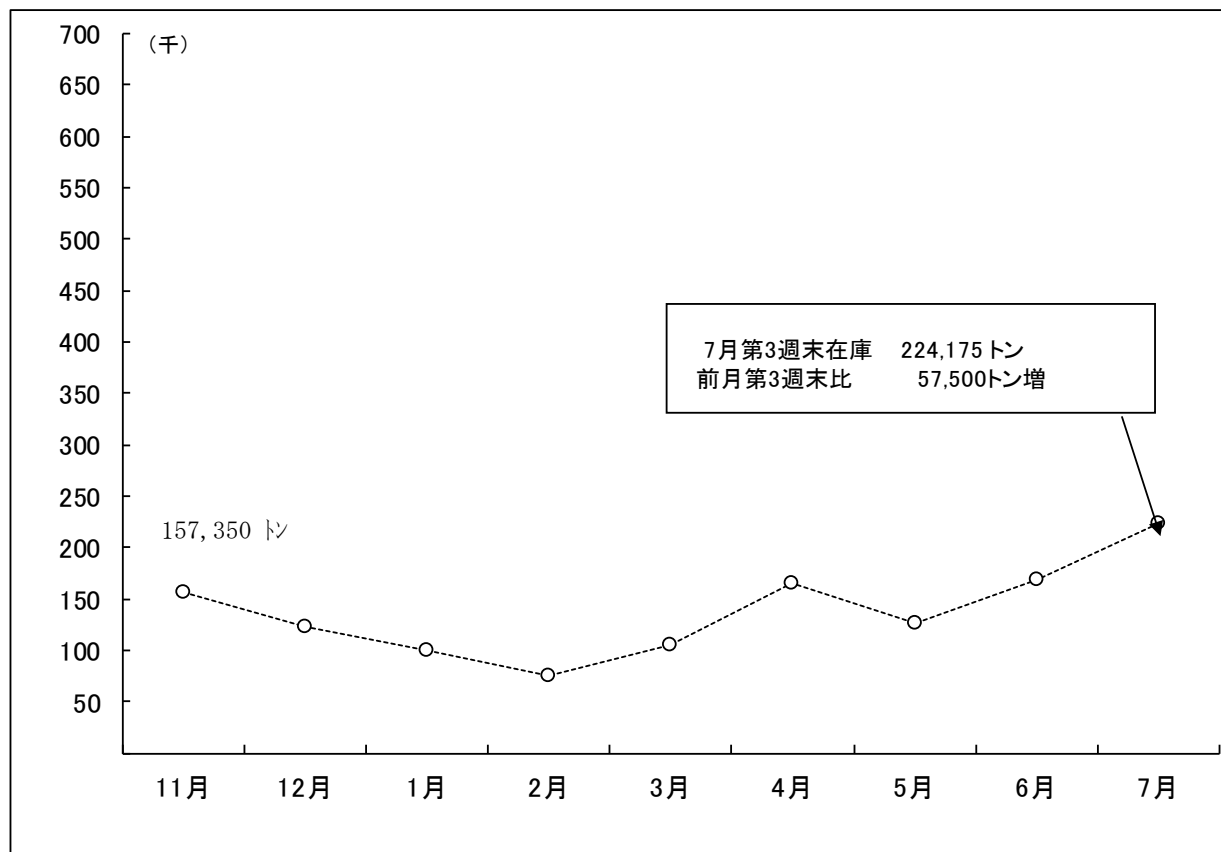
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2021年4月	2021年5月	増減	2020年5月	増減
横浜	133,200	133,300	+100	166,700	-33,400
名古屋	125,100	137,700	+12,600	156,300	-18,600
大阪	15,300	14,600	-700	15,500	-900
合計	273,600	285,600	+12,000	338,500	-52,900

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・21年7月16日現在 45,355 S T 前月比 7,962 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・21年5月末 95,366 トン 前月比 14,150 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・21年5月確報 62,485 トン
 ・21年6月速報 68,600 トン 前月比 111.7 %

◎ 電線出荷実績

・21年6月速報 52,800 トン 前月比 115.0 %

◎ 軽圧品生産実績

・21年 6月	板 類	104,345 トン	
	押 出 類	63,756 トン	
		<hr/>	
		168,101 トン	前月比 108.4 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。